

紙版 ハコブネ×ブックス vol.42

<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐwebサイトです。



声の出ないぼくとマリさんの一週間

作者 松本聡美
出版社 汐文社
発行 2014年10月
ISBN 978-481132134

review



真一が声を出せなくなったのは、**学校で嫌われてしまった**からです。面と向かって嫌いだと同級生に言われたことで、真一は傷つき、学校にも登校できなくなりました。そんな折、二人で暮らしていたお母さんが仕事で海外出張することになり、真一はお母さんの友人のマリさんに預けられます。男性なのに**お化粧をして女性の格好でスナックで働いている**マリさんに戸惑いながらも、真一はここで生活に慣れていきます。マリさんがお客さんにバカにされているところを見てしまった真一は、マリさんの**タフなハート**を知ります。マリさんの強さと、真一に寄せてくれる気持ちが、少しずつ真一の心を動かします。人ほど嫌われても、凹むことなく、**強く生きていかなければならない**。ヤワだった真一もまた、**タフに生きる**力強さを身につけていきます。

特集

声にならない想い



話すことがたくさんあるの...
ジョン・マーズデン
安藤紀子 訳
講談社 1990年5月

マンガナの風にのせて

PAPER WISHES.

作者 ロイス・セババーン
訳者 若林千鶴
出版社 文研出版
発行 2018年6月
ISBN 978-4580823358

review



マナミが声を出せなくなったのは、**ペットの犬、トモと、自分のせいで離ればなれになってしまった**からです。一九四二年、太平洋戦争が始まり、ワシントン州の島に暮らすマナミたち日系人は敵国側の人間として扱われるようになり、マナミは強制的に立ち退きさせられ、マンガナにある有刺鉄線に囲まれた収容施設に移送させられる際に、マナミはトモをコートに隠して一緒に連れて行くこととしたところを兵隊に見つかり、トモを取り上げられてしまいます。マナミは失意に沈んだまま、トモと再会する願いを何枚もの紙に書き**マンガナの風に飛ばす**ものの紙に書き**マナミの心は、それでも少しづつ動き出します**。マナミが**生きて、勇気を養い、その声を取り戻すまで**、物語は静かに時を刻んでいきます。



よるの美容院

作者 市川朔久子
出版社 講談社
発行 2012年5月
ISBN 978-4062176866

review



まゆ子が声を出せなくなったのは、**目の前で同級生のタケルが車にはねられた**からです。怪我をして入院したタケルのいない教室で、まゆ子は次第に口を開かなくなり、話すことができなくなります。タケルの事故が自分のせいではないかと責任を感じていたからです。両親は心配して世話を焼きますが、その配慮や気遣いが、まゆ子を追い詰めていきます。学校に行けなくなったまゆ子を預かってくれたのは「ひるま美容院」を営んでいる美容師のナオコ先生でした。ナオコ先生の、すばらしいシャンプーの技術によって、まゆ子は、営業時間が終わった**よるの美容院**で癒されていきます。自分が声を出せなくなった理由に向き合いたくはないが、**穏やかに癒されていく**。その回復のプロセスを物語は静かに感じとらせてくれます。

ジュビリー

Jubilee.

作者 バトリシア・ライリー・ギフ
訳者 もりうちすみこ
出版社 さ・え・ら書房
発行 2017年10月
ISBN 978-4378015231

review



ジュディイスが声を出せなくなったのは、幼い頃に、**女優を目指す母親に置き去りにされてしまった**からです。ジュディイスは母親の姉であるコラおばさんのもとで、沢山の愛情を受けて、健やかに育てられました。ジュディイスのことを**ジュビリー**（この上ない喜びと呼んで、溺愛するおばさんは、もっと多くの人たちと接して、友だちを作って欲しいと思いついて、友だちを作っていたジュディイスを普通クラスで過ごさせようと考えます。しかし、話ができないジュディイスは同級生とトラブルになり、傷つけられることとなります。ジュディイスもまた、人は自分の心に正直に従うことで、誰かが傷つくことさえ見えなくなってしまうものだと思いつく。愛情ゆたかな周囲の大人たちから**護られながら**、ジュディイスは**外の世界で人と心を交わしていく**ことで、やがて幸福な結末へと導かれます。

特集

声にならない想い



ヒカルが声を出せなくなったのは、**両親が交通事故で亡くなった**から、日本とオランダ、三百年前と現代をつなぐ、一本の線に結ばれていく壮大な物語が始まります。二つの国に残された二枚の絵皿をめぐる謎を解き明かすまで、ヒカルは**自分の声を取り戻す長い旅**を続けます。



デルフトブルーを追って
(中澤晶子)
国土社 2006年



@tomostretch

紙版「ハコブネ×ブックス」vol.42

2024年3月1日発行 ●発行人 きむらともお

事務系会社員。趣味で児童文学紹介サイト「ハコブネ×ブックス」(非営利)を運営しています。日本児童文学者協会第6回児童文学評論新人賞佳作他、諸々を受賞。